

I 事業報告

1 事業概要

公益財団法人うつのみや文化創造財団の運営におきましては、公益財団法人の趣旨をふまえ、引き続き、経営基盤と組織体制の強化及び人材育成の充実を図るとともに、法令等を遵守し、適正な運営に努めました。

事業実施におきましては、魅力ある市民文化の創造を図り地域文化芸術の振興に寄与することを目的に、文化振興基金を積極的に活用した財団独自の自主及び企画事業に重点を置きながら、教育普及事業、文化活動の育成・支援、地域文化の創造事業など、多様な文化芸術振興事業を実施しました。

また、宇都宮市文化会館と宇都宮美術館及びうつのみや文化の森の指定管理者として、両施設の「管理に関する基本協定書」に基づき、適切な施設管理運営を行いました。

(1) 宇都宮市文化会館

文化芸術振興事業の実施にあたりましては、文化芸術活動の育成・支援、地域文化の創造、舞台芸術鑑賞の3事業を主要な柱と位置づけ、自主財源を活用する自主事業20事業と宇都宮市から委託を受けて実施する受託事業24事業、総数44事業と宇都宮市民芸術祭を実施しました。

また、平成27年11月からの大規模改修工事に伴い全事業が館外事業となり、栃木県総合文化センター、南図書館、地区市民センター等を活用して効果的に事業を展開しました。

ア 文化芸術活動の育成・支援事業

(ア) 教育普及事業では、次代を担う児童・生徒向けにアウトリーチの充実を図りました。さらに鑑賞の場、体験の場となる受け皿としての役割を併せ持つ事業を展開することにより、文化芸術の普及啓発を図りました。

- ・市内の中学校へ演奏家を派遣する「おでかけコンサート」は、4校で実施し、参加者数は1,406人となりました。
- ・文化芸術講師派遣事業「ふれあい文化教室」は、市内の小学校・中学校へのさらなる浸透と活性化を目的に展開し、延べ144回実施し、参加者は13,202人となりました。
- ・邦楽の普及を図る目的で実施した「SANKYOKU2016～若き名手・和の継承～」公演は、県内の文化施設2館と連携し、地域からの文化発信を図り市民に良質な邦楽公演を提供できました。
- ・伝統文化の普及を図る目的で実施した「能ワークショップ」は、一般向け及び親子を対象に4回実施し、参加者は280人となりました。

(イ) 文化芸術活動の発表機会の提供では、宇都宮市内・県内で活動する若手芸術家や一般市民に発表の機会を提供し、事業のみならず活動自体の広報を行うなど側面から支援しました。

- ・「学生邦楽フェスティバル」は、本年度より邦楽専攻コースが新設された宇都宮短期大学において実施し、小学生から一般の参加者の13団体が参加しました。

イ 地域文化の創造事業

地域と連携した事業や地域の文化資源を活かした事業を展開し、市民文化の振興と創出に努めることを目的に実施しました。

- ・「ファインフィールドフェスティバル2016」は、男女共同参画推進センターをメイン会場とし近隣施設、地域の自治会や住民と連携することにより地域コミュニティの創造と再生に寄与し、来場者は1,567人となりました。
- ・「宇都宮・和の祭典」は、和の魅力を身近に感じてもらうため、宇都宮中心街オリオンスクエアを会場に文化発信を図りました。

ウ 舞台芸術鑑賞事業

多様な文化芸術や優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供を基本に16事業を実施しました。

- ・新春市民寄席特別企画「市民センター出前寄席」では、文化芸術に親しんでいただくために、市内地区市民センター9施設に出向き実施し、総入場者数は1,231人となりました。
- ・美術館連携事業では、「石の街うつのみや」との連携事業として、松が峰教会を会場にクラシックコンサート2事業を実施し、総入場者数は364人となりました。

平成28年度の総入場者数は、自主事業7,449人、受託事業23,390人、合計30,889人となり、前年度比約64%の減となりました。その主な要因は、大規模改修工事に伴う事業数の減少によるものです。

宇都宮市民芸術祭は、財団の持つ地域文化団体とのネットワークを活用して20事業を実施し、入場者数は11,043人と前年度比約16%の減となりました。その主な要因は、大規模改修工事に伴う茶華道部門の休催によるものです。

(2) 宇都宮美術館

文化芸術振興事業におきましては、美術館所蔵作品の公開、企画展の開催、教育普及事業の実施、美術作品の収集・管理等の事業を実施しました。

ア 自主事業

地域連携事業である「子どもフェスタ in 文化の森2016」は、市制施行120周年記念事業として実施し、宇都宮市消防音楽隊の演奏も加わり、過去最多の約4,300人の参加者がありました。

さらに、財団基金を活用した企画展として、宇都宮美術館開館20周年・市制施行120周年を記念して、「石の街うつのみやー大谷石をめぐる近代建築と地域文化」を開催し、49日間で8,080人の観覧者がありました。この事業は、宇都宮に産する「大谷石」に焦点を当て、この石が生み出した近代建築を「地域のデザイン史」として読み解くとともに、また、石をめぐる風景と産業が「美術作品」としてどのように表現されたのかを探りました。写真や絵画の展示に加え、設計図や石の標本等の展示もおこないました。また、関連事業として建築シンポジウム、まち歩き・さと歩きワークショップ、松が峰教会の石の空間におけるコンサートも開催しました。

イ コレクション展

1年間で3回の会期に分け、宇都宮美術館が所蔵する作品から、会期ごとにテーマを設定し、その内容に沿った作品を展示しました。また、特集展示「辰野登恵子展」を展開し、観覧者は52,618人となりました。

ウ 企画展

企画展は、「ガレの庭 花々と声なきものたちの言葉」の観覧者数が36日間で13,041人、「第37回宇都宮市民芸術祭」が20日間で3,671人、「第11回・宇都宮エスペール賞クワクポリョウタ展」は30日間で6,708人、「スター・ウォーズ展 未来へつづく、創造のビジョン。」は58日間で34,805人、また、宇都宮美術館開館20周年記念「ベルギー 奇想の系譜展」の観覧者数は、2,083人（3月31日現在）となりました。年間の企画展観覧者合計は目標の62,000人に対して63,334人となりました。企画展とコレクション展を合わせた展覧会の総観覧者数は、115,952人となりました。

エ 企画展関連事業

各企画展の内容に合わせた講演会、コンサート、ギャラリー・トークなどの事業を展開し、参加者数は900人となりました。

オ サテライト企画展

中心市街地の活性化に資するとともに、市民に美術館外でも美術作品の鑑賞機会を提供するため、市民ギャラリー（表参道スクエア）で開催した本展は、「石の街うつのみや」展と関連させた「大洲大作・写真の仕事ー石の街」展を実施し、ギャラリー・トーク及びアート・トークも好評を博し、18日間で849人の観覧者となりました。

カ 教育普及事業

教育普及事業では、次代を担う児童・生徒を対象とした、小中高のクラス単位の美術授業「トビダス美術館」をはじめ、制作や観察などの実体験を通して、文化の森の魅力を感じていただく自然観察会、地元の音楽家を紹介する森のコンサートなどを開催し、5,410名の参加者となりました。

(3) 施設貸与及び施設管理

施設の管理運営にあたりましては、宇都宮市文化会館と宇都宮美術館及びうつのみや文化の森の指定管理者として、両施設の「管理に関する基本協定書」に基づき、快適で安全・安心な環境の維持と提供に努めるとともに、危機管理体制の強化を図りました。

文化会館は、平成27年11月からの大規模改修工事が無事終了し、栃木県交響楽団を迎えた内覧会は1,800人の入場者数となりました。施設貸与事業にあたりましては、全館休館のため利用はありませんでした。

宇都宮美術館の講義室は、10件の利用があり（前年度12件）、100%減免が8件、50%減免が1件、減免なしが1件でした。

2 事業内容

(1)宇都宮市文化会館

ア 自主事業（基金事業）

財団の自主財源を活用して、文化芸術活動の育成・支援事業や、文化芸術活動の発表機会提供及び地域文化の創造事業、優れた舞台芸術鑑賞事業を実施し、舞台芸術の紹介・普及に努めました。また、大規模改修工事に伴い、全事業を館外で実施しました。

(ア) 文化芸術活動の育成・支援事業

(a) 教育普及事業

(単位:人)

No.	事業名	開催日	会場	内 容	料金	目標入場者数	入場者
1	ワークショップ 「邦楽を知る」	9/4 (日)	雀宮 地区市民 センター	邦楽の基本的な知識・演奏技術を習得する講習会を開催	無料	60	60
2	SANKYOKU2016 ～若き名手・和の継承～ 栃木市公演	11/27 (日)	栃木市 都賀 文化会館	邦楽の普及啓発を図るため、県内2館と連携して行う邦楽巡回公演の第1回目の公演を開催	無料	600	729
3	SANKYOKU2016 ～若き名手・和の継承～ 日光公演	12/18 (日)	日光市今市 文化会館	栃木県交響楽団の協力を得てオーケストラ入門演奏会として開催。今回より無料招待として実施	無料	700	906
4	うつのみや 春の演劇フェスティバル	3/11(土)・ 12(日)	南図書館	県内高校・アマチュア劇団によるフェスティバルを開催	有料	300	353
教育普及事業(4事業)小計						1,660	2,048

(b)文化芸術活動の発表機会提供

(単位:人)

No.	事業名	開催日	会場	内 容	料金	目標入場者数	入場者
1	高等学校演劇連盟 夏期研究発表会	7/22(金)・ 23(土)	東図書館	高等学校演劇連盟加盟校による作品の上演, 評価を行い演劇のレベルアップを図った	無料	300	573
2	中学校演劇 研究発表会	7/27(水)・ 28(木)	東図書館	市内中学校演劇部による作品の上演, 評価を行い演劇のレベルアップを図った	無料	300	516
文化芸術活動の発表機会提供(2事業)小計						600	1,089

(イ) 地域文化の創造事業

(単位:人)

No.	事業名	開催日	会場	内容	料金	目標入場者数	入場者
1	ファインフィールドフェスティバル2016	4/23(土)・24(日)	男女共同参画推進センター及び南宇都宮駅周辺	吉野町, 明保野町の文化団体及び住民参加のフェスティバル(ワークショップなどを開催)	無料	800	1,567
2	市制施行 120 周年記念事業「宇都宮市消防音楽隊演奏会」	5/5(木・祝)	うつのみや文化の森	こどもフェスタ in 文化の森とコラボレーションした消防音楽隊による野外コンサートを開催	無料	300	400
3	和の都 宇都宮アートフェスト	3/4(水)	大谷寺, 旧大谷公会堂, ほか	大谷地区を中心に, 伝統芸能・文化の祭典, スタンプラリー, 大谷の魅力再発見ガイドツアー, 各種ワークショップを開催	無料	1,000	800
地域文化の創造事業(3事業)小計						2,100	2,767

(ウ) 舞台芸術鑑賞事業

(単位:人)

No.	事業名	開催日	会場	内容	料金	目標入場者数	入場者
1	新春市民寄席特別企画「市民センター出前寄席」vol.3	8/7(日)	国本地区市民センター	市内地区市民センターに出向き, 邦楽コンサート及び落語を開催	無料	170	180
2	新春市民寄席特別企画「市民センター出前寄席」vol.4	8/21(日)	篠井地区市民センター	市内地区市民センターに出向き, 邦楽コンサート及び落語を開催	無料	140	92
3	新春市民寄席特別企画「市民センター出前寄席」vol.5	8/28(日)	城山地区市民センター	市内地区市民センターに出向き, 邦楽コンサート及び落語を開催	無料	80	98
4	新春市民寄席特別企画「市民センター出前寄席」vol.6	9/11(日)	田原コミュニティプラザ	市内地区市民センターに出向き, 邦楽コンサート及び落語を開催	無料	200	262
5	新春市民寄席特別企画「市民センター出前寄席」vol.7	9/18(日)	清原地区市民センター	市内地区市民センターに出向き, 邦楽コンサート及び落語を開催	無料	140	86
6	新春市民寄席特別企画「市民センター出前寄席」vol.8	10/16(日)	豊郷地区市民センター	市内地区市民センターに出向き, 邦楽コンサート及び落語を開催	無料	130	150

No.	事業名	開催日	会場	内 容	料金	目標入 場者数	入場者
7	新春市民寄席特別 企画「市民センター 出前寄席」vol.9	11/13 (日)	平石 地区市民 センター	市内地区市民センター に出向き、邦楽コンサ ート及び落語を開催	無料	70	138
8	新春市民寄席特別 企画「市民センター 出前寄席」vol.10	12/11 (日)	岡本 コミュニテイ プラザ	市内地区市民センター に出向き、邦楽コンサ ート及び落語を開催	無料	30	42
9	新春市民寄席特別 企画「市民センター 出前寄席」vol.11	2/12 (日)	雀宮 地区市民 センター	市内地区市民センター に出向き、邦楽コンサ ート及び落語を開催	無料	140	183
10	美術館連携事業 「大谷石に刻む永 久の響き」	11/19 (土)	松が峰 教会	宇都宮美術館企画展 「石の街うつのみや」との 連携事業としてクラシック コンサートを開催	無料	160	184
11	美術館連携事業 「村尾芽衣チェンバ ロ・リサイタル」	12/11 (日)	松が峰 教会	宇都宮美術館企画展 「石の街うつのみや」との 連携事業としてチェンバ ロ・リサイタルを開催	無料	160	180
舞台芸術鑑賞事業(11事業)小計						1,420	1,595
自主事業(20事業)入場者合計						5,780	7,499

イ 受託事業

宇都宮市から、教育普及、文化芸術活動の育成・支援、地域文化の創造を目的に、事業委託を受け実施しました。

(ア) 文化芸術活動の育成・支援事業

(a) 教育普及事業

(単位:人)

No.	事業名	開催日	会場	内 容	料金	目標入 場者数	入場者
1	高校生演劇ワーク ショップ特別講座 the・高校演劇&ディ レクターズワークショ ップ	7/2 (土)	東図書館	高校演劇のレベルアッ プを図るために各コン クール受賞作品を素材 としたワークショップと 作品上演を開催	無料	300	202
2	高校生演劇ワーク ショップ 第1・2回目	7/24(日)・ 25(月)	東図書館	財団職員の技術提供 及び指導のもと、演劇 の基礎技術を習得する 講習会を開催	無料	500	618

No.	事業名	開催日	会場	内 容	料金	目標入 場者数	入場者
3	中学生演劇ワーク ショップ	7/28 (火)	東図書館	財団職員の技術提供 及び指導のもと、演劇 の基礎技術を習得する 講習会を開催	無料	200	173
4	第1回 中学校 おでかけコンサート	9/27 (火)	宇都宮 東高校 附属中学校	市内の中学校へ出向 いて実施したクラシック アウトリーチ事業を開催	無料	500	240
5	第2回 中学校 おでかけコンサート	9/28 (水)	宇都宮 短期大学 附属中学校	市内の学校へ出向い て実施したクラシックア ウトリーチ事業を開催	無料	500	207
6	第3回 中学校 おでかけコンサート	10/25 (火)	栃木県立 盲学校	市内の中学校へ出向 いて実施したクラシック アウトリーチ事業を開催	無料	500	102
7	第4回 中学校 おでかけコンサート	11/19 (土)	宇都宮市立 星が丘 中学校	市内の学校へ出向い て実施したクラシックア ウトリーチ事業を開催	無料	500	857
8	高校生演劇ワーク ショップ 第3回目	12/3 (土)	那須塩原 市黒磯文 化会館	財団職員の技術提供 及び指導のもと、演劇 の基礎技術を習得する 講習会を開催	無料	300	154
9	未来(あす)に羽ばた く新進芸術家による 日本舞踊公演	12/7 (水)	栃木県 総合文化 センター サブホー ル	市内小学校の高学年 を対象に、日本舞踊の 実演を通して学習する 鑑賞教室を開催	無料	250	192
10	能ワークショップ (宝生流)	1/22 (日)	豊 郷 地区市民 センター	能の基本的な知識を習 得する講座を開催	無料	80	63
11	劇団四季ミュージカ ル「こころの劇場」 (2回公演)	1/23 (月)	栃木県 総合文化 センター メインホー ル	市内小学校高学年児 童を対象に一流の舞台 芸術鑑賞会を開催	無料	3,000	2,887
12	能ワークショップ (観世流)	1/29 (日)	豊 郷 地区市民 センター	能の基本的な知識を習 得する講座を開催	無料	80	72
13	高校生演劇ワーク ショップ 第4回目	2/4 (土)	中央アート スクール	県内高校生の演劇部 員を対象とした、舞台 の基礎知識を習得する 講習会。	無料	200	259

No.	事業名	開催日	会場	内 容	料金	目標入 場者数	入場者
14	能ワークショップ (喜多流)	2/19 (日)	豊 郷 地区市民 センター	能の基本的な知識を習 得する講座を開催	無料	80	60
15	親子で楽しむ 能ワークショップ	3/5 (日)	美術館	親子を対象に、能の基 本的な知識を習得する 講座を開催	無料	80	85
16	文化芸術講師派遣 事業「ふれあい文化 教室」	通年	各学校	小中学校及び特別支 援学校に出向き、伝統 音楽・古典芸能等のワ ークショップを開催	無料	11,000	13,202
教育普及事業(16事業)小計						18,070	19,373

(b)文化芸術活動の発表機会提供

(単位:人)

No.	事業名	開催日	会場	内 容	料金	目標入 場者数	入場者
1	学生邦楽 フェスティバル	10/2(日)	宇都宮 短期大学	小学生からプロの演 奏家たちによる邦楽 普及演奏会を開催	無料	300	416
2	シティホール ふれあいコンサート	年6回	市役所内	市庁舎においてプロ・ アマを問わず演奏者 を募集し、コンサートを 開催	無料	480	634
文化芸術活動の発表機会提供(2事業)小計						780	1,050

(イ) 地域文化の創造事業

(単位:人)

No.	事業名	開催日	会場	内 容	料金	目標入 場者数	入場者
1	市制施行 120 周年 記念事業 「宇都宮・和の祭典」	12/3 (土)	オリオン スクエア	邦楽, 日本舞踊, 文 楽などの伝統芸能を 市の中心街で開催	無料	300	1,577
地域文化の創造事業(1事業)小計						300	1,577

(ウ) 舞台芸術鑑賞事業

(単位:人)

No.	事業名	開催日	会場	内容	料金	目標入場者数	入場者	
1	プロムナードコンサート	PC117 松田理奈 無伴奏 ヴァイオリン・ リサイタル	7/3 (日)	南図書館	日本を代表する若手 ヴァイオリニストによる リサイタルを開催	有料	200	295
2		PC118 AKASAKA 木管五重奏団 コンサート	9/25 (日)	南図書館	実力ある木管五重奏 団によるコンサートを 開催	有料	200	267
3		PC119 荘村清志& 錦織健デュオ・ リサイタル	11/6 (日)	南図書館	日本を代表するテノ ール歌手とギタリスト によるデュオコンサ ートを開催	有料	200	308
4		PC120 長谷川陽子 無伴奏 チェロ・ リサイタル	12/4 (日)	南図書館	日本を代表するチェ ロ奏者によるリサイ タルを開催	有料	200	302
5	らんらん# たのしく♪み ゅーじ っく	Vol.36 熊本マリ ファミリー コンサート	10/30 (日)	南図書館	未就学児童の親子を 対象に、家族揃って 楽しめる演奏会を開 催	有料	250	218
舞台芸術鑑賞事業(5事業)小計						1,050	1,390	
受託事業(24事業)入場者数						20,200	23,390	
自主事業と受託事業(44事業)入場者合計						25,980	30,889	

ウ 第37回宇都宮市民芸術祭

(単位:人)

部門	事業名	開催日	料金	入場者数	会場
茶華道	開幕展	休 催			
	華道展	休 催			
	茶会	休 催			
ギャラリー	日本画展, 工芸展, 書道展	6月19日(日)~6月30日(木)	無料	1,667	美術館
	彫刻展, 洋画・版画展, 写真展	7月8日(水)~18日(月)	無料	2,004	美術館
ホール	民謡民舞大会	5月22日(日)	無料	370	総文サブ
	オーケストラ公演	5月22日(日)	一般(高校生以上)1,000円 中学生以下無料	1,151	総文メイン
		宇都宮シンフォニーオーケストラ			
		6月12日(日)	一般1,500円(前売1,200円) 小中高生800円(前売600円)	1,099	総文メイン
		栃木県交響楽団			
	7月2日(土)	一般800円 小中高生500円	1,209	総文メイン	
	宇都宮大学管弦楽団				
	謡曲大会	5月28日(土)	無料	243	総文サブ
	邦楽演奏会	6月5日(日)	1,000円	228	総文サブ
	吟詠剣詩舞祭	7月3日(日)	無料	350	総文サブ
	オペラ公演	6月18日(土)	1,500円	327	総文サブ
	市民歌謡祭	6月19日(日)	1,000円	380	南図書館
	ミュージカルパフォーマンス コンテスト	7月9日(日)	無料	60	総文サブ
	合唱フェスティバル	6月19日(日)	無料	400	総文サブ
	日本舞踊祭	6月19日(日)	無料	838	総文メイン
演劇公演	6月26日(日)	一般1,700円,小中高1,000円	317	南図書館	
大衆芸能祭	7月10日(日)	1,000円	400	総文サブ	
表彰式	7月23日(土)			市役所	
入場者合計				11,043	

自主事業+受託事業+宇都宮市民芸術祭入場者総数	41,932
-------------------------	--------

※上記以外の軽音楽会(参加168団体, 観覧者48,000人)と文芸(応募数93作品)については, 宇都宮市事業として実施しました。

(2) 宇都宮美術館

ア 自主事業

(ア) 基金事業

美術館，友の会，豊かな郷づくり推進協議会等の豊郷地区各種団体，地元小・中・高等学校，帝京大学，地元企業などと連携した地域密接型フェスティバルである「子どもフェスタ」を実施しました。また，宇都宮美術館開館20周年・市制施行120周年を記念して，わがまちに産する「大谷石」に焦点を当てた「石の街うつのみやー大谷石をめぐる近代建築と地域文化」を開催しました。

(単位：人)

No.	事業名	開催期間 会場	内容	目標参加者数	観覧者参加者
1	市制施行120周年記念 子どもフェスタ in 文化の森 2016	5月5日(木・祝) うつのみや 文化の森	美術館，友の会，豊郷地区各種団体，近隣の学校，地元企業等と連携し，うつのみや文化の森内で実施した。内容は子どものためのフェスティバル(コンサート，バルーン，森の探検，工作教室など)。	3,000	4,300
2	宇都宮美術館開館20周年 市制施行120周年記念 石の街うつのみやー 大谷石をめぐる近代建築 と地域文化	1月8日(日)～ 3月5日(日) 49日間 宇都宮美術館	宇都宮に産する「大谷石」に焦点を当て，この石が生み出した近代建築を「地域のデザイン史」として読み解くとともに，また，石をめぐる風景と産業が「美術作品」としてどのように表現されたのかを探った。	5,000	8,080
自主(基金)事業合計		50日間	—	8,000	12,380

(イ) 自主事業関連事業

(単位：人)

No.	事業名	開催期間 会場	内 容	目標参 加者数	参加者
1	さと歩きワークショップ 「石の里・大谷を探访 する」	10月30日(日) 大谷町界限	大谷石を産する「石の里・大 谷」(大谷町・田下町・田野町) を訪れ、石の誕生、地形と風 土の特質を地質学の観点か ら実地で学んだ。	30	30
2	まち歩きワークショップ 「石の街・宇都宮を探 訪する」	11月13日(日) 中心市街地	大谷石を用いた建造物が多く 残る「石の街・宇都宮」の中心 市街地を訪れ、近代建築、石 蔵や石塀、街並みを文化史 の観点から実地で学んだ。	30	30
3	ファミリー・コンサート 「大谷石に刻む永久 の響き」	11月19日(土) カトリック 松が峰教会聖堂	宇都宮市文化会館と宇都宮 美術館の連携企画。出演：井 上雅人氏ほか。曲目：バッハ 作「管弦楽組曲第2番短 調」ほか。	160	184
4	「村尾芽衣チェンバ ロリサイタル」	12月11日(日) カトリック 松が峰教会聖堂	宇都宮市文化会館と宇都宮 美術館の連携企画第2弾。出 演：村尾芽衣氏ほか。曲目： バッハ作品各曲。	160	180
5	ジャズ・コンサート 「石の街はジャズの 街」	1月22日(日) 美術館講義室	宇都宮市出身のミュージシャ ンによる演奏の間に「石と音 楽の出会い」に関するミニ・レ クチャーを行った。出演：高橋 幹夫グループほか。	160	170
6	シンポジウム 「凝灰岩と近・現代建 築－国際性と地域性」	2月26日(日) 美術館講義室	「国際性」と「地域性」をキーワ ードに、凝灰岩の建築の歩み や特色を探った。講師：三宅 正弘氏ほか。	160	143
7	「石の街うつのみや」 展ギャラリー・トーク	企画展開催中 の土曜日 午後2時～ 8日間	当学芸員による「石の街うつ のみや」展の作品解説	100	183
自主事業関連事業合計		14日間	—	800	920

イ 受託事業

宇都宮市から、教育普及、文化芸術活動の育成・支援、地域文化の創造を目的に、事業委託を受け実施しました。

(ア) コレクション展

宇都宮美術館の様々な所蔵品を可能な限り市民に公開できるよう配慮しながら、年に3回展示替えを行い、企画性を持った展示でコレクション展を開催しました。

(単位:人)

No.	事業名	開催期間 会場	内容	目標観 覧者数	観覧者
1	デザイン コレクション展	4月1日(金)～ 4月10日(日) 9日間 展示室2	宇都宮美術館では、「地域と美術」「生活と美術(デザイン)」「環境と美術(野外彫刻)」を基本方針に、幅広い領域の作品を収集し、我が国の公立美術館としては有数の「デザインコレクション」を築いた。今回は、その中から「椅子が語るモダン・デザインの歩み」をテーマに、10脚の名作椅子に焦点を当て、同時代のポスターとグラフィック、プロダクトとともに、20世紀初頭から1950年代にかけての世界のデザイン動向を立体的に紹介した。	51,660	※1 21
2	第1回 コレクション展	4月10日(日)～ 7月7日(木) 75日間 展示室1	「ルネ・マグリットの作品を見つめて」では、昨年度貸出により展示機会の少なかったマグリット作品をあらためて紹介。「静物画と人物画」では、日本近代の油絵を2つのモチーフに焦点をあてる。「宇都宮にゆかりの彫刻表現」では、新収蔵の杉山惣二のテラコッタ作品2点を初めて紹介。「スポーツに関するデザイン」では、ポスターを中心に紹介する。現代美術は「関根伸夫の実験精神」で、同作家の特集展示を行った。		※2 10,519 (1,290)

※1 は4月9日までの観覧者数になり、4月10日は第1回コレクション展に含まれる

※2 ()内はコレクション展だけを鑑賞した観覧者数

(単位：人)

No.	事業名	開催期間 会場	内 容	目標観 覧者数	観覧者
3	第2回 コレクション展	7月17日(日)～ 12月4日(日) 117日間 展示室1	美術館という、いわば日常と非日常の間にある空間において、いつもの景色の向こうにある特異な世界を垣間見るような展示を行った。「日常へのまなざし」では、馴染みの景色に不思議な魅力を見出した宇都宮ゆかりの作家たちの作品を紹介。「日常のなかの驚き」では、わたしたちに驚きをもたらしてくれる愉快的なポスターを紹介。「日常の裏側から」では、奇妙な姿でわたしたちを刺激する人物や動物たちを紹介した。8月29日展示替え実施。	51,660	※2 27,620 (9,509)
4	第3回 コレクション展	1月7日(土)～ 3月30日(木) 71日間 展示室1	「世界の美術」では、作品の色彩をテーマとして二つの色彩＝「青」と「赤」を主調色とした作品を対比させながら展示。「日本の美術」では、作品とそれにかかわる素描を合わせて展示した。また、「世界と日本のデザイン」では、「食事」にかかわるデザイン作品を、「宇都宮にゆかりの美術」のコーナーでは、個性的な造形技法で制作を続けた宇都宮ゆかりの作家の作品を紹介した。2月20日展示替。		※2 7,796 (429)
5	コレクション展 特集展示 辰野登恵子	7月31日(日)～ 9月4日(日) 30日間 展示室3	辰野登恵子(1950～2014)は、「絵画とは何か」という問いに真剣に取り組み続けた、日本の現代絵画を代表する作家であったが、2014年に急逝。近年、辰野の業績を振り返る企画が各地で行われている。本展覧会は、コレクション展内の特集企画として、宇都宮美術館所蔵作品を中心に、辰野の絵画への取り組みを回顧した展覧会。	5,000	6,662
コレクション展合計		302日間	—	56,660	52,618

※2()内はコレクション展だけを鑑賞した観覧者数

(イ) 企画展

「ファインアートとデザインをつなぐ」をテーマに多様な美術の表現を紹介することを目的に、単独或いは他の美術館等との共同で、国内外の優れた作品による企画展示を行いました。

(単位:人)

No.	事業名	開催期間 会場	内 容	目標観 覧者数	観覧者
1	齋藤富蔵展	4月1日(金)～ 4月10日(日) 9日間 展示室3	宇都宮生まれの画家、齋藤富蔵(1919-1992)の回顧展。戦後宇都宮の画壇において独自の存在感を示した齋藤の画業を振り返った。初期の宇都宮ゆかりの風景や建物をモチーフにした作品群から、日光の自然を幻想的に描いた晩年の「深山シリーズ」までを一堂に展覧した。	1,000	3,026
2	ガレの庭 花々と声なきものたちの言葉	4月24日(日)～ 6月5日(日) 36日間 展示室2・3	アール・ヌーヴォーの生みの親のひとり、エミール・ガレ(1846—1904)は、花や昆虫の姿を通じて作品に象徴性を盛り込み、身近な工芸を芸術にまで高めたと賞賛された。本展では北澤美術館所蔵のガラス作品をオルセー美術館所蔵のデザイン画と共に紹介し、作品に込められた無言のメッセージを読み解き、ガレの内面世界へと迫った。	15,000	13,041
3	第37回 宇都宮市民芸術祭 (前期展：日本画，工 芸，書道)	6月19日(日)～ 6月30日(木) 10日間 展示室2・3	毎年6万人が参加する、宇都宮芸術の祭典。6月は前期展として日本画，工芸，書道部門を開催。	8,000	1,667
4	第37回 宇都宮市民芸術祭 (後期展：彫刻，洋 画・版画，写真)	7月8日(金)～ 7月18日(月) 10日間 展示室2・3	毎年6万人が参加する、宇都宮芸術の祭典。7月は後期展として彫刻，洋画・版画，写真部門を開催。		2,004
5	第11回・宇都宮エスペール賞 クワクボリョウタ展	7月31日(日)～ 9月4日(日) 30日間 展示室2	第11回・宇都宮エスペール賞の受賞者、クワクボリョウタの展覧会。映像とインスタレーションによって鋭い感性にみちた若手作家の芸術を紹介した。	10,000	6,708

(単位：人)

No.	事業名	開催期間 会 場	内 容	目標観 覧者数	観覧者
6	スター・ウォーズ展 未来へつづく，創造のビ ジョン。	9月18日(日)～ 11月27日(日) 58日間 展示室2・3	1977年の第1作公開以来， 絶大な人気を誇る映画「スタ ー・ウォーズ」の世界を紹介。 ジョージ・ルーカス監督の呼 びかけに応じ世界中のアー ティストたちが腕をふるった作 品をはじめ，シリーズ6作品 の制作現場で実際に使用さ れたコンセプトアートや衣裳， 小道具など約150点で「スタ ー・ウォーズ」の壮大なヴィジ ョンを体感。	20,000	34,805
7	宇都宮美術館 開館20周年記念 ベルギー奇想の系譜 展	3月19日(日)～ 3月31日(金) 11日間 展示室2・3	ベルギー・フランドル地方は 500年以上にわたり写實的で ありながらも空想に満ちた独 特の油彩画を生み出してき た。ルネ・マグリットの故郷でも あるこの地の美術の系譜を 「幻想」という視点で追う展覧 会。貴重な17世紀の版画か らヤン・フェーブルら現代の作 家たちに至るまで30名余りの 作品を紹介した。	8,000	2,083
企画展合計		164日間	—	62,000	63,334

(ウ) 企画展開連事業

企画展・コレクション展の理解や鑑賞の充実につながるよう、それぞれのテーマに沿った講演会やワークショップなどの事業を行いました。

(単位：人)

No.	事業名	開催期間 会場	内 容	目標参 加者数	参加者
1	「エミール・ガレ、人物と創作の背景」	4月24日(日) 講義室	本展覧会監修者であり、北澤美術館主席学芸員の池田まゆみ氏による講演会。	50	90
2	「キャスト(鋳造)してつくるガラスプレート」	5月14日(土)～ 5月15日(日) 森のアトリエ	ガレの作品のように、植物をモチーフにしてガラスプレートを制作するワークショップ。	8	10
3	市民芸術祭公開講評会 (前期)	6月26日(日) 展示室2・3	審査員と出品者、一般鑑賞者が作品を通して交流した。 書道:13:00～15:00 工芸:14:00～15:00 日本画:15:00～16:30	50	90
4	市民芸術祭公開講評会 (後期)	7月17日(日) 展示室2・3	審査員と出品者、一般鑑賞者が作品を通して交流した。 写真:13:00～15:00 洋画・版画:13:30～15:30 彫刻:14:00～15:30	50	130
5	座談会 「辰野登恵子の出発点ー 1970年代を中心にー」	8月11日(木) 講義室	大石一義氏(デザイナー)と当館館長谷新による辰野登恵子の足跡に関する座談会。	50	30
6	クワクボリョウタ アーティスト・トーク	8月21日(日) 講義室	クワクボリョウタ氏本人によるインスタレーションに関するアーティスト・トーク。	30	60
7	スター・ウォーズ展 「仮装入館デー」	9月18日(日) 10月29日(土) 11月26日(土) 美術館内	スター・ウォーズの登場人物に扮装したファンが相互の親睦を図った。	30	65 50 55

(単位：人)

No.	事業名	開催期間 会場	内 容	目標参 加者数	参加者
8	スター・ウォーズ展 ミニコンサート	10月29日(土) 1日間	栃木県交響楽団のメンバーが当館中央ホールにおいてスター・ウォーズの映画を彩るおなじみの名曲を演奏。	50	320
企画展関連事業合計		11日間	—	318	900

(エ) サテライト企画展

より多くの市民に良質な美術に触れていただき、美術(館)への理解と愛着を深めていただくと共に、中心市街地の活性化に資することを目的に、館外展示を行いました。

(単位：人)

No.	事業名	開催期間 会場	内 容	目標参 加者数	参加者
1	宇都宮美術館 サテライト企画展 大洲大作・写真の仕事ー石の街	1月19日(木)～ 2月5日(日) 市民ギャラリー	「石の街うつのみや」展のために写真家の大洲大作氏が撮り下ろす珠玉の作品で構成。	1,000	849
2	サテライト企画展 ギャラリー・トーク	1月29日(日) 市民ギャラリー	宇都宮美術館担当学芸員による大洲大作氏が切り取った大谷に関する作品解説。 講師:主任学芸員 橋本 優子	5	17
3	サテライト企画展 アーティスト・トーク	2月5日(日) 市民ギャラリー	写真家大洲大作氏本人による石の街に関するギャラリー・トーク。 講師:大洲 大作氏	5	29
サテライト美術館合計		20日間	—	1,010	895

(オ) 教育普及事業

(a) 出前授業 (トビダス美術館)

トビダス美術館は、宇都宮美術館学芸員を講師として学校に派遣し、授業のお手伝いをする学芸員派遣事業として実施しました。

(単位：人)

No.	事業名	開催期間 会場	内 容	目標参 加者数	参加者
1	市立陽東小学校	10月18日(火) 陽東小学校	2学年3学級を対象に粘土で学校内に潜む「謎の生き物」を空想、制作する授業。 講師：小堀 修司	85	86
2	市立西が岡小学校	11月8日(火) 西が岡小学校	6学年2学級を対象にシャガールやピカソ等の様々な作家の作品の鑑賞と解説。 講師：藤原 啓	65	67
3	市立豊郷北小学校	1月23日(月) 豊郷北小学校	5・6年各2学級を対象に「大谷石について」の授業。 講師：橋本 優子・小堀 修司	70	70
4	市立城山西小学校	1月24日(火) 城山西小学校	6学年1学級を対象に「水彩絵具の特質や使い方」の授業。 講師：福島 文靖	15	15
5	市立白沢小学校	2月2日(木) 白沢小学校	4学年1学級を対象に「作品鑑賞」と「制作・体験」について実感できる授業。 講師：前村 文博	40	40
6	市立雀宮中央小学校	2月28日(火) 雀宮中央小学校	5学年3学級を対象に「洋画家薮野健の作品」についての解説を中心とした授業。 講師：石川 潤	90	93
出前授業合計		6校 12学級	—	365	371

(b) 美術講座

美術鑑賞, 創作, 学習等市民の自発的なアート活動を促進するため多様な教育普及活動を行いました。

(単位:人)

No.	事業名	開催日 会場	内 容	目標参 加者数	参加者
1	美術講座 「裏箔・裏彩色の技 法」	3月26日(日) 1日間	日本画家, 荒井孝氏による「裏 箔・裏彩色」の技法についての 解説と作品に込める思いにつ いての講演。	150	90
美術講座合計		1日間	—	150	90

(c) 森のコンサート

(単位:人)

No.	事業名	開催日 会場	演奏者・曲目	目標参 加者数	参加者
1	第83回森のコンサート 「サクソフォンとピア ノの調べ」	4月30日(土) 講義室	演奏者:古谷真唯(Sax.) 中村里紗(Pf.) 演奏曲:ダリウス・ミヨー「スカラム ーシュ」ほか	160	170
2	第84回森のコンサート 「チェロオーケストラ で奏でる未完成交響 曲」	6月25日(土) 講義室	演奏者:栃木チェロ協会 (指揮:宮田豊) 演奏曲:シューベルト「交響曲 第7番ロ短調(未完成)」ほか	160	170
3	第85回森のコンサート 「ギターとヴァイオリ ンの響き」	8月20日(土) 講義室	演奏者:渡邊洋邦(Gt.) 渡邊弘子(Vn.) 演奏曲:N.パガニーニ「カンター ビレ」ほか	160	170
4	第86回森のコンサート 「高橋幸江ヴァイオリ ンコンサート〜J.S.バ ッハの海〜」	10月22日(土) 講義室	演奏者:高橋幸江(Vn.) 篠崎のぞみ(Pf.) 演奏曲:J.S.バッハ「ヴァイオリン とチェンバロのためのソナタ第 1番ロ短調」ほか	160	170

(単位:人)

No.	事業名	開催日 会 場	演奏者・曲目	目標参 加者数	参加 者
5	第87回森のコンサート 「デュオ・スピカ コ ンサート」	2月18日(土) 講義室	演奏者:海老澤栄美(Cl.) 高梨佳子(Cl.) 駒井菜美(Pf.) 演奏曲:「愛の挨拶」, 「演奏会用小品第2番」ほか	160	170
森のコンサート合計		5日間	—	800	850

(d) 森のアトリエ

(単位:人)

No.	事業名	開催日 会 場	内 容	目標参 加者数	参加者
1	森のアトリエ 「空想の動物をつく ろう」	10月9日(日) 森のアトリエ	講師にアーティスト新村優子氏 を招き、紙粘土を用いて“森”に 住む空想の動物を制作した。	10	15
森のアトリエ合計		1日間	—	10	15

(e) アートトーク

(単位:人)

No.	事業名	開催日 会場	内 容	目標参 加者数	参加者
1	「イノベーティブデザイン入門」第1回	8月8日(月) 宇都宮大学 基盤教育センター	「デザインとは何か」「なぜ理工系分野でデザインの思考が重要か」に関するレクチャー、「地域とデザイン」をテーマにしたワークショップなど。 講師:橋本 優子	25	35
2	「イノベーティブデザイン入門」第2回	10月9日(日) 宇都宮大学 基盤教育センター		25	22
3	「イノベーティブデザイン入門」第3回	11月6日(日) 宇都宮大学 基盤教育センター		25	21
4	「フランクロイドライトと大谷石の魅力」	10月31日(月) 宇都宮市立 城山中学校	建築家フランクロイドライトと大谷石の関わりに関する講義。 講師:橋本 優子	80	92
5	「美術館の裏側」	11月9日(水) 中央生涯学習 センター	普段観覧者の目に触れることはない学芸員の仕事やバックヤード等に関する講義。 講師:藤原 啓	30	32
6	「石の街うつつのみや」	2月12日(日) 中央図書館	大谷石とはどのような岩石・石材か, 地域の産業・建築・文化の関わりに関する講義。 講師:橋本 優子	20	20
アートトーク合計		6日間	—	205	222

(f) 自然観察会

(単位:人)

No.	事業名	開催日	講師・内容	目標参加者数	参加者
1	「ホタルと夜の生き物観察会」	6月11日(土)	内容:敷地内に発生するホタル及び夜行性の生き物の観察会 講師:末本一巳(自然史研究会研究員)ほか3名	150	39
2	「光にあつまる虫を観察しよう」	7月16日(土)	内容:白布の透過光に集まる夜行性昆虫の捕獲・観察 講師:末本一巳(自然史研究会研究員)ほか3名		21
3	「バッタと遊ぼう」	9月17日(土)	内容:草の広場に生息するバッタを捕獲し、飛距離を競う 講師:青木章彦(作新学院女子短期大学教授)ほか3名		※3 中止
4	「親と子の造形あそび」	12月4日(日)	内容:文化の森で採集した蔓や木の実、松ぼっくりなどを使ったクリスマスリース作り 講師:青木章彦(作新学院女子短期大学教授)ほか2名		32
5	「里山の野鳥を観察しよう」	3月11日(土)	内容:公園敷地内に生息する春の野鳥観察会 講師:遠藤孝一(日本野鳥の会栃木県支部副支部長)ほか3名		19
自然観察会合計		5日間	—	150	111

※3 「バッタと遊ぼう」は、バッタの生息数不足により中止

(g) その他

(単位:人)

No.	事業名	開催日	内 容	目標参加者数	参加者
1	企画展 ギャラリー・トーク	企画展開催中 の土曜日 午後2時～ 11回	担当学芸員による企画展示 の解説。	400	464
2	コレクション展 ギャラリー・トーク	火曜～木曜, 日 曜, 祝日の 午後2時～ 153回	作品解説ボランティアによるコレ クション展の作品解説。	1,300	684
3	団体鑑賞の受入れ	70団体	学校関係を主に団体鑑賞を受 入れ, 作品解説, バックヤード 案内等を実施。	1,000	2,570
4	博物館実習	8月17日(水)～ 8月24日(水) 7日	講義, 実習, 展覧会見学, 課題 研究及び課題発表等の実習を 実施。	—	2
5	教職10年目研修	8月6日(土) 8月7日(日) 2日	教職に就いて10年目を迎える 教師のための研修会。	—	1
6	作品解説ボランティア 第4期生養成講座	4月を除く毎月 第1土曜日 11回	当美術館作品解説ボランティア の養成講座。レクチャーとワーク ショップを中心に構成。	—	30
教育普及その他合計		—	—	2,700	3,751

(カ) 美術作品等の収集調査

当館の収集方針に基づき、美術作品の収集調査活動を行いました。

平成28年度の購入はなし。寄贈作品として松本哲男氏日本画など9点、その他高木修氏の彫刻・立体など計13点の寄贈を受け、収集作品合計は6,633点となりました。

(保管転換はなし)

(キ) 美術作品等の管理

平成29年3月31日現在、保管している作品は6,633点で、その内訳は次のとおりです。

日本画	油彩・平面	水彩素描	版画	彫刻・立体	グラフィック デザイン
79	404	555	2,225	190	2,459
プロダクト・ デザイン	写真	工芸	アーティスト・ ブック	資料その他	合 計
287	34	1	23	376	6,633